

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は、社会福祉法第107条に基づく「市町村地域福祉計画」の策定にあたって、地域保健福祉に関する市民のニーズや意識・意見を把握し、また、市民から見た地域と社会福祉施設やNPO法人との関わりの実態等を把握することを目的とし実施した。

2 調査設計

	【「地域における保健福祉のあり方について」市民意向調査】
調査対象者	平成26年11月1日の時点において、満16歳以上の市民から無作為抽出した5,000人を対象とする
調査方法	調査対象者に調査票を郵送し、記入後の調査票を同封の返信用封筒にて返送していただく郵送方式にて実施
調査基準日	平成26年11月1日
調査期間	平成26年12月5日～平成26年12月19日
調査項目	○地域とのかかわりの状況について（問1～9） ○地域で生活していく上での自分自身の心配ごとについて（問10～13） ○地域保健福祉活動への参加意欲について（問14～18） ○今後の地域保健福祉のあり方について（問19～24） ○調査対象者の属性（問25～31）

3 回収結果

標本数	5,000件
総回収数	2,050件
有効回収数	2,050件
有効回収率	41.0%

4 報告書の見方

- (1) グラフのNとは回答数を表すものであり、設問によって異なる場合がある。
- (2) 回答の構成比は百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出している。従って、単一選択式の質問においては、回答比率を合計しても100%にならないことがある。また、回答者が2つ以上の回答をすることができる複数選択式の設問においては、各設問の回答数（サンプル数N）を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると100%を超える場合がある。
- (3) 調査票における設問及び選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。